

当たり前なのでしょうが、ここでお願いします。

町長は議員当時から色々な職に就いています。例えば、NPO日本自治アカデミーの理事長ですとか、平成27年3月の段階で、私の知る限りでは4つの役職と、3つのまちづくり関連の任意団体に所属されています。

町長になった今でも続けられている職がいくつあるのかをお聞きします。また、町長になってから、その職での出張回数ほどれけであったのか、合わせてお聞きします。

町長 5月1日に町長に就任してから、行政用務等で数多くの出張に出ており、7月から町長、副町長、教育長の行事日程を行政情報告知端末、あるいはホームページにより町民の皆さんにお知らせをしていることから、「出張不在が多い」との声をいただくこともあります。出張に関しては、その用務の意義、効果などを考慮して決定しています。現在も続けている役職については、現在、役職に就任しているのは、NPO日本自治

アカデミー理事、カルチャーナイト北海道、はまなす財団理事、北海道遺産協議会理事、北海道地域農業研究所集落対策委員であり、町長就任後、日本自治アカデミーでは3回はまなす財団2回、北海道遺産協議会2回、集落対策委員2回の会議に出席しています。

これら公務以外の会議については、町長としてはなく、私個人として役職を引き受けしているもので、公務を優先するとともに、公務に支障がないよう調整して、休日に開催された会議に出席しています。

再質問 その職などで培われた人脈、また下川のまちづくりのためにも有利な点があると思います。しかし、町民の皆さんが町長の出張回数などを気にしているということ、少なからず不安を抱いているということだと思います。そういった不安、心配をなくすためにも、少しずつそういう職を減らして、町政に御尽力していただければいいと思えますが、考えを聞かせください。

町長 私個人で数回そういうかたちで出掛けています。5月1日に就任してから土日、がほとんどない状況で、ある意味ではパークゴルフをしたという日、そういう時をことういう出張、私のプライベートな出張にしているというところであり、住民の皆様がそこをトータルでものを考えるのは、ちょっと私にとっては意外です。

道の関係の役職は3つ辞退をさせていただき、5月の段階で辞表を出しましたので、負担が軽減されております。また、日本自治アカデミー、あるいは北海道遺産協議会、さらにカルチャーナイトの役員については、実は下川町に大変優位に働く可能性のあるものです。既にはまなす財団については、下川町が取り組んでいる事業に対しての補助関係が出ていますし、北海道の道立総合研究機構ですが、昨年7月に下川町と連携協定を結びまして、5か年の研究をやっている。こういう関係で、ネットワーク形成を、ほかの首長とは違うという、ここをしっかりとつくりたいかな

いと、下川町は今の地方創生に生きていくことはできないと、私自身は自負をしているところなんです。

公職は優先させますけれども、いずれにしても私のプライベートな部分でも下川町に役に立つ、そういうものを反映できるように頑張りたいと思いますので、御理解いただきたいと思えます。

再質問 今、務められている職について、下川町にとって大変有利に働いているというところは理解できました。町長になられてもうすぐ1年、今までの1年は継続事業などを進めてきたことと思われませんが、新年度からは本当の意味で谷町政が始まると思っております。町民の皆さんも谷町長はこれからのどんな政策を打ち出してくれるのだろうかという期待をしています。大変多忙なことは承知しています。

かつて下川の若大将といわれた谷町長も、今ではそう若くはないのです。過労で倒れられても困ります。自分の身体とも相談しながら、健康に留意されて、町政に御尽力し

ただければと思います。

町長 健康管理はしっかりとできるようにしていきたいと思えます。私の人生設計の中に5つございます。

1つ目は、ネットワーキングをしっかりとしていきたいということ、要するに人脈づくりです。それと人と人の意見交換の場を作っていくこと。2つ目は、自分自身の成長を促していきたいと、人格形成をさらにやっていきたいということ。3つ目は健康管理をしっかりとやっていくということ、で、検診と人間ドックは欠かさず進めています。4つ目は、社会の中で信用価値を高めたいと、考えています。5つ目は、最後は家族との人生設計をしっかりと考えていくということ。

この5つを自分の人生の規格として取り組んでいって、これまで何十年と暮らしてきましたが、これからどのぐらいの命があるかわかりません。でき得ることを下川町のために頑張りたいと思います。